

(関係様式B)

税込で100万円超の発注をする場合で、相見積をとることが困難な場合に作成

(補助事業者名：)

選定理由書

1. 選定業者・選定品の名称等
2. 選定理由(注1)
3. 選定要件(注2)
4. 選定経緯(注3・4)
5. 価格の妥当性(注5)

注1：新たに発注が必要となった理由を、目的とあわせて、現在有する経営資源では対応できない/数が不足する等の状況を交えて記載してください。

注2：発注するサービス等の内容、納期などの選定要件を、 といった専門的な調査・分析手法を有している市場調査・分析サービスが求めていること、現所有設備を維持しつつも大幅な改装工事を実施できること、 までに業務完了が可能であること、などのように記載してください。

注3：過去の発注実績、見積もりやインターネットの掲載情報等、業者を選定(特定)するまでの経緯、選定業者に依頼するメリット(コストが低い、作業時間が短くてすむ等)を記載してください。

注4：相見積を行ったものの、最も安価でないものを選定する場合は、「4.選定経緯」に、その理由がわかるよう記載してください。また、この場合には、その旨を記載していただければ、「5.価格の妥当性」の記載は不要です。

注5：過去の発注実績や見積もり、値引き交渉等、調達価格の妥当性を記載してください。